

共に、新たな未来を。

Together

2023年度 福島県公立学校教員採用案内

ふくしまで、先生になろう。



福島県教育委員会

「子どもたちの未来は、ふくしまの未来」。

新任教員から
Message

小学校教諭 Elementary school

工夫し楽しめる授業を通して
福島県のさまざまな魅力を伝え
故郷を誇りに思う児童を育てたい。



福島市立福島第四小学校
教諭 大塚 恵



My step!

◎福島県の教員を志願した理由は？

私は令和3年度まで、東京都で教員をしていました。たくさん子どもたちと出会い、関わる中で「これまでの経験を活かし、ふるさと福島に貢献したい」という思いが次第に強くなり、福島県の教員を志願しました。今、教員として、福島県の未来を担う子どもたちと共に過ごす時間には、とてもやりがいがあります。

◎先生という仕事の魅力は？

1年間を通して、学級を担任できるところが一番の魅力です。子どもたちと多くの時間を過ごし、成長や変化を間近で感じられるのは、先生という仕事の特長だと思います。子どもたちが目標に向かって頑張る姿や、できなかったことができるようになり喜び姿を見たときなどは、自分のことのようにうれしく感じます。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

全校児童の数が少ない学校ですが、一人一人があいさつを大切に、日頃から笑顔にあふれています。感謝の気持ちを伝えることができる素直な子どもたちばかりです。また、1学年1学級ということもあり、子どもたち同士が多くの時間を共に過ごしているため、お互いのことを理解し合い、支え合うよい関係性ができています。



◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

通級指導教室が併設されていることで、特別支援教育に詳しい先生方が数多く在籍しています。また、毎週1時間授業を参観し、児童一人一人の様子を丁寧に見取ってくださいます。特別支援教育の観点から、子どもたちの様子を共有したり、指導のアドバイスをいただいたりと、教職員みんなで協力し合えるところが魅力です。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

浜通り、中通り、会津と、三地方からなる福島県には、それぞれの自然、歴史、文化があります。地域のことを学んだり、教材研究を行ったりして、新しい発見や知識を積み重ねていくことはとても楽しいです。工夫し楽しめる授業を通して福島県の魅力を子どもたちへ伝えていき、故郷を誇りに思えるようにしていきたいです。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島の子どもの未来と笑顔のために、
一緒に頑張りましょう。

先生が笑っていると、子どもたちも笑顔になる。

先生が頑張っていると、子どもたちも一生懸命になる。

小学校も、中学校も、高等学校も、特別支援学校も、子どもたちの未来をつくるのはいつだって先生。

ふくしまの新たな未来をつくる、子どもたちの未来を共に作りませんか。

新任教員から
Message

中学校教諭 Junior high school

子どもたちに何事にも挑戦する
勇気を育むことができる教師となり
故郷ふくしまを活気づけたい。



My step!

◎福島県の教員を志願した理由は？

故郷の福島を活気づける仕事がしたいと思ったことがきっかけでした。以前は、民間企業に勤めていましたが、これまでの経験を通して自分の生き方を見つめ直し、私が福島のために何が出来るか思い巡らせました。そして、福島県の教員として、未来を担う子どもたちを育てること、「教育」で福島に貢献したいと考え、志願しました。

◎先生という仕事の魅力は？

先生という仕事は、子どもたちの成長をそばで見守りながら、子どもたちから学び、教師自身も成長できる仕事だと思っています。授業や学校行事、部活動を通して生徒と接していると、何事にも懸命に取り組もうとする姿が見られ、その姿に勇気づけられます。子どもたちのために自分に何が出来るかを考え、日々努力しています。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

本校の生徒は、授業や委員会活動、学校行事、部活動など、さまざまな活動に意欲を持って取り組んでおり、目標の達成に向けて一丸となって活動しています。中でも、校内合唱コンクールは、どのクラスも合唱の完成度を高めようと、時間を見つけて一生懸命練習に励みます。努力を惜しまない子どもたちの姿に胸を打たれました。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

自慢できるところは、明るく素直で、思いやりのある子どもが多いところです。本校は「真・善・美」という校訓を掲げており、人や社会のため誠実に善いことを進んで行う子どもたちの育成を目指し、「あじさい運動」（「あ」挨拶、「じ」時間を守る、「さ」最後までやり抜く、「い」いじめをしない）に取り組んでいます。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

子どもたちのために「教育」を通して福島に貢献することが、福島県の教員としてのやりがいだと感じています。私は高校生の時に被災し、人生の途中でつまづいても、再び前を向くことができることを学びました。この経験から、子どもたちに何事にも挑戦する勇気を育むことができるような教師になりたいと思っています。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

輝く未来ある子どもたちの成長を共にサポートしていきましょう！



いわき市立平第二中学校
教諭(英語) 関口 瑞季





福島県では、急激な社会の変化の中で、「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる児童生徒」を育成するために、**学びの変革※1**を実現できる次のような教員を求めています。

※1 学びの変革とは
全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行の画一的な授業から、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革すること

新任教員から
Message

高等学校教諭 Senior high school



レスリングの競技力だけでなく、
社会でも通用する人間力を備えた
人材を育てることが一番の目標。

My step!

◎福島県の教員を志願した理由は？

昨年度まで、外部コーチとしてふたば未来学園レスリング部の中学生・高校生を指導していました。教員として関わることで、部員の学校生活全般を通し競技力だけでなく人間力を育成するという私の指導理念を実現し、福島県から全国・世界で活躍できるアスリート・人材を輩出したいと思ったからです。

◎先生という仕事の魅力は？

教員として、生徒と接する中で生徒から学ぶことが多く、毎日貴重な経験をさせてもらっています。生徒の成長を身近で見られる仕事であることはもちろんですが、一緒に取り組んできたことで成果が出ると自分のことのようにうれしく、とてもやりがいを感じる事ができるのが教員という仕事の素晴らしいところです。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

個性的で力のある生徒が県内外から集まっており、部活動や学校生活を通しお互いを高め合っています。また、本校には寮も完備されており、規則を守りながら明るく有意義な共同生活を送っています。学校行事などでは、中高生全体で一体となり、大変な盛り上がりを見せてくれます！

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

生徒の主体性を引き出す授業を行い、社会で通用する人材・リーダーを育成していることです。県内外から入学した多くの生徒たちが、学力や運動技能の向上のために日々活動しています。未来創造探究においては、地域課題の解決に向けた探究活動に取り組んでおり、研究成果発表会などに地域の方々も来校していただけます。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

私は、特別選考Ⅲのレスリング枠で採用され教員となりました。1番の目標は、福島県のレスリング競技を全国トップレベルに引き上げ、競技力と人間力を兼ね備えた社会に出ても通用する人材を育成することです。また、授業を通して私がこれまで経験して学んだことを、福島県の子どもたちに還元していきたいと思っています。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島県の未来ある子どもたちと、一緒に頑張りましょう！



福島県立ふたば未来学園高等学校教諭(保健体育) **砂川 航祐**





「福島らしさ」※2をいかした多様性を力に変える教育と、福島で学び福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を実践する教員

※2 「福島らしさ」とは

- 「はま・なか・あいづ」に代表される広い県土だからその多様性、それぞれの地域の文化と歴史、豊かな自然環境といった独自性
- 人と人の触れ合いや支え合いの精神など、人々の温かさや絆が息づいている県民性
- 東日本大震災及び原子力災害によって他の地域よりも複雑で多くの課題を抱える中で、地域等の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けていること

新任教員から Message

子どもたちが本当に必要な力を身に付けることができるよう、専門家として自己研鑽に励みます。



福島県立郡山支援学校 教諭(小学部) 大橋 瑞希



特別支援学校教諭 Special-needs education school



My step!

◎福島県の教員を志願した理由は？

私には障がいのある姉がいます。行動するまでに時間がかかることから、姉の役に立ちたいという思いが幼い頃からありました。それから次第に障がいについて学びたいと思い、特別支援教育の道に進みました。また、生まれ育った福島で、未来を担う子どもたちと共に学びたいと思い、福島県の教員を志願しました。

◎先生という仕事の魅力は？

子どもたちからたくさんのパワーをもらいながら、毎日仕事ができることです。私たちにとっては当たり前の日常も、子どもたちにとってはさまざまな驚きと発見があり、新鮮な反応をたくさん見せてくれます。そんな素直な子どもたちの姿が、「今日も頑張ろう」と思える活力になっています。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

本校は、肢体不自由者の特別支援学校です。子どもたちは、初めて見る物や興味のある物に積極的に関わり、じっくり観察したり、手を伸ばして感触を確かめたりと、好奇心旺盛です。また、伝えたい気持ちが強く、目を輝かせながら、言葉や文字盤、指さしなどでたくさん話をしてくれます。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

郡山支援学校は「光の学校」とも呼ばれています。外からの自然光がたっぷり降り注ぎ、とても明るいです。また、子どもの障がいの状態に応じ、学習面や生活面の困難さを改善・克服する「自立活動」の学習を大事にしています。そのため、子どもたちの反応は微細でも、豊かな思いを受け止めることができます。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

「人に授けるに魚を以てするは、人に授けるに漁を以てするに如かず」という言葉が私は好きです。子どもたちは、これから長い人生を歩んでいきます。一時の支援ではなく子どもたちの将来を見据え、本当に必要な力を身に付けることができるように、教育の専門家、特別支援教育の専門家として自己研鑽に励みます。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島の子どもたちは、とても元気がかわいいです！



高い倫理観と教育に対する情熱・使命感を持ち、
児童生徒に伴走しながら学び続ける教員

新任教員から
Message

養護教諭 Nursing teacher



中学時代の養護教諭の先生のように
皆さんから頼られる存在になるため
知識やスキルを積み重ねていきたい。



鮫川村立鮫川小学校
養護教諭 松川 理咲



My step!

◎福島県の教員を志願した理由は？

中学時代にお世話になった養護教諭の先生との出会いがきっかけでした。その先生は、友達関係で悩んでいる私の話を親身に聞いてくださいました。私が高校2年生のときに将来の夢を見つめ直したのも、中学時代の養護教諭の先生のように、福島の子どもたちのために、少しでも力になりたいと思ったからです。

◎先生という仕事の魅力は？

子どもの成長に関われることです。講師の経験を経て、養護教諭の仕事は、一人一人の心身の変化を継続して見守ることができると感じます。また、子どもたちの純粋な考えや何気ない発言に気づかされることが多く、子どもと共に学び合えるのも魅力だと思います。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

雄大な自然の中で伸び伸びと育つ本校の子どもたちは、とても素直で素敵な個性を持っています。赴任したばかりの私に、鮫川村について教えてくれたり、毎月貼り出す手作りの保健用掲示物の感想を伝えてくれたりします。子どもたちと日々、コミュニケーションを取りながら仕事ができ、とても幸せです。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

鮫川村では、小学校から中学校の9年間を通して「ふるさと教育」と「キャリア教育」を合わせた、「さめがわ学」を行っています。この「さめがわ学」では、地域ボランティアの方々の協力を得ながら、村の自然や歴史などにふれることができるので、本校の魅力の一つとなっています。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

高校生の頃から夢見ていた養護教諭となり、子どもたちの健康課題の解決に向けて、先生方や関係機関の方々と連携しながら仕事をするに、やりがいを感じています。子どもたちや先生方、保護者の方々から頼られる養護教諭となることを目標に、これからも知識やスキルを身に付けていきたいと思っています。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

福島の子どもたちのために、
一緒に仕事してみませんか？



心身共に健康で、自らの強みや指導力をいかし、
チームとして多様化・複雑化する教育ニーズに対応する教員

新任教員から
Message

障がいがあるからこそ“つたえ合い”
“わかり合える”授業づくりを考え
実践していく面白さがあります。

合理的配慮の申請による合格者



My step!

◎福島県の教員を志願した理由は？

千葉県の特別支援学校で、教員として働いてきた経験を生かして、故郷の福島県で教員を続けようと思ったからです。また、卒業した福島県立聴覚支援学校に恩返しの意味も込めて、福島県の教員を志願しました。

◎先生という仕事の魅力は？

さまざまな姿を見せてくれる生徒たちとの日々は、新しい発見の連続で子どもたちが成長していく様子を目にできる喜びがあります。子どもたちと生活を共にする中で、自分も改めて学びの効果に気づかされたり、授業のアイデアが浮かんだり、日々学びを実感できることが魅力です。

◎勤務校の子どもたちの様子は？

本校には、小学部から高等部まで合わせて200名を超える子どもたちが在籍しています。明るく、活発な子どもたちが、元気に学んでいます。手話で挨拶してくれたり、目を合わせて話しかけてくれたり、子どもたちとの毎日のふれあいが、教員として頑張る源となっています。

◎勤務している学校の魅力や自慢できることは？

勤務する学校は、豊かな自然に囲まれ、季節を存分に感じることが出来ます。福島県立博物館の事業との連携もあり、五感を駆使して鑑賞したり体験したりする機会があります。子どもたちの自立と社会参加に向けて、地域資源を生かした授業づくりができることも魅力の一つとなっています。

◎福島県の教員としてのやりがいやこれからの目標は？

障がいのある教員として、子どもたちの手本となるロールモデルとなるように心がけています。障がいがあるからこそICT機器を活用することで、“つたえ合い”“わかり合える”授業づくりを日々考え、実践していく面白さがあります。

◎福島県の教員を目指す人へ一言！

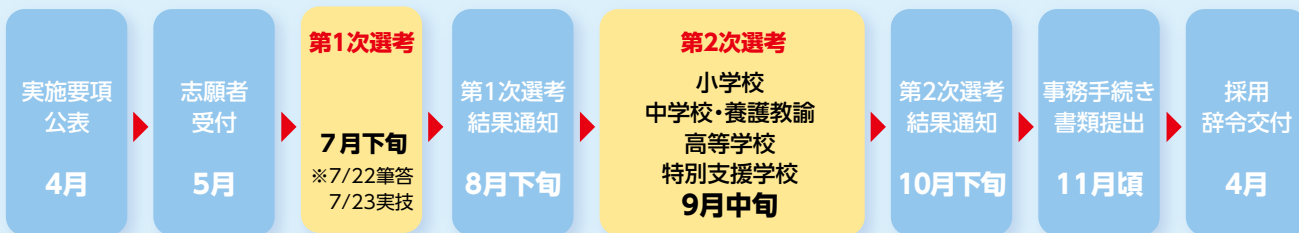
仲間たちはいます。
勇気を出して福島県の教員を目指しませんか。



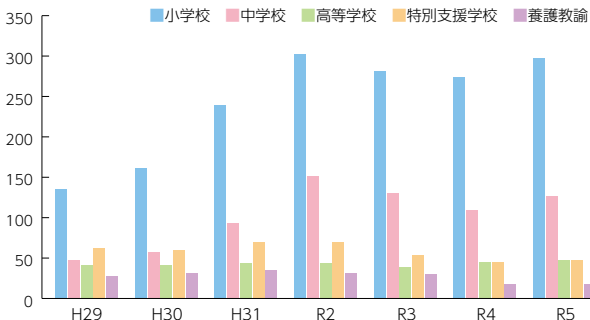
福島県立会津支援学校
教諭(中学部) 根本 和徳



出願から採用までのスケジュール



合格者数実績



志願者・受験者・合格者・倍率 (令和4年度実施)

	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者数/合格者数)
小学校	444	421	297	1.4
中学校	650	630	127	5.0
高等学校	474	451	47	9.6
特別支援学校	179	174	47	3.7
養護教諭	188	182	19	9.6
合計	1,935	1,858	537	3.5

令和6年度選考試験(令和5年度実施)における主な変更点

1. 大学推薦特別選考の導入

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭において、大学等から推薦を受けた者を対象とする特別選考を導入します。

<受験資格>

- 福島県の教員になることを第一志望とし、福島県が求める教員像にふさわしい資質と能力を有する方
- 出願時に大学及び大学院に在籍し、学業成績が優秀で、大学内外の諸活動の実績が顕著な方

<推薦人数>

- 各大学において原則1名とする。ただし、大学院を置く大学においては、大学及び大学院それぞれから1名推薦することができる。なお、福島県教育委員会が推薦人数を定める大学については、その推薦人数を限度として推薦することができる。

<選考内容>

- 第一次選考試験は、筆答試験のうち教職教養〔共通問題〕を免除とする。なお、推薦対象の教科(科目等)については、今後発表される実施要項でご確認ください。

2. 特別選考Ⅰにおける第一次選考試験の免除

全ての校種の特別選考Ⅰ(教職経験者特別選考)において、第一次選考試験の受験を免除します。それに伴い、東京会場での試験は行いません。

3. 小学校における特別支援学級卒の導入

特別支援教育のさらなる充実を図るため、小学校教諭の全ての選考において、「特別支援学級卒」を設定します。

<募集人数>

- 若干名 ※募集定員に「特別支援学級卒」を含めます。

<受験資格>

- 小学校教諭及び特別支援学校教諭普通免許状を取得している、又は取得見込みの方

4. 小学校における特別支援学校との併願の廃止

※中学校における特別支援学校との併願は継続します。

上記3の「小学校における特別支援学級卒」を導入したことにより、小学校教諭の一般選考において、特別支援学校教諭との併願を廃止します。

5. 高等学校及び特別支援学校高等部における教科「情報」との併願(第二志望)の導入

高等学校教諭及び特別支援学校教諭高等部の一般選考、特別選考Ⅱ(臨時的任用職員等経験者特別選考)において、志願する教科(科目等)と教科「情報」との併願を実施します。

<受験資格>

- 高等学校教諭、特別支援学校教諭高等部の志願者(「情報」の志願者は除く)で、「情報」の普通免許状を取得している、又は取得見込みの方

※詳しくは「令和6年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験第一次案内」及び実施要項(令和5年4月下旬公表)をご覧ください。

6. 高等学校における特別選考Ⅲの募集分野(種目)の変更

高等学校教諭において、必要とされるスポーツ・芸術等の分野(種目)に関する優れた実績がある方を対象に実施する特別選考Ⅲ(スポーツ・芸術等特別選考)は、以下の分野(種目)を募集します。

<令和6年度募集分野(種目)>

- スポーツ:ソフトテニス

<受験資格>

- 国際規模の大会に出場した方、又は全国規模の大会で特に優秀な実績を有する方(団体競技にあっては正選手として登録され出場した方)又はこれらの者を指導育成した実績(経験)を有する方

<募集人数>

- 若干名
※令和6年度は、芸術分野の募集は行いません。特別選考Ⅲは、必要のある場合に限り実施します。

7. 高等学校及び特別支援学校高等部における特別選考Ⅳの募集分野(教科)について

高等学校教諭及び特別支援学校教諭高等部において、必要とされる分野(教科)に関する優れた社会人経験等がある方を対象に実施する特別選考Ⅳ(社会人経験等特別選考)は、以下の分野(教科)を募集します。

<令和6年度募集分野(教科)>

- 情報(令和5年度から変更なし)

※受験資格について、令和5年度からの変更はありません。詳しくは募集要項でご確認ください。

<募集人数>

- 若干名

8. 高等学校及び特別支援学校高等部における「福祉」及び「書道」の受験資格(免許要件)の緩和

高等学校教諭及び特別支援学校教諭高等部における「福祉」及び「書道」の受験資格において、今後は、「福祉」については福祉以外の教科(科目等)の免許状を有する要件、「書道」については国語の免許状も有する要件をそれぞれ廃止します。なお、令和6年度における当該教科の募集の有無については、今後発表される募集要項でご確認ください。

令和7年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験 [予告](#)

1. 複数免許加点における条件の追加

小学校教諭、特別支援学校教諭小学部の一般選考、特別選考Ⅱ、大学推薦特別選考の志願者で、幼稚園教諭普通免許状を取得している、又は取得見込みの方は教科試験において加点します。

2. 司書教諭資格を有する方への加点制度の導入

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭の一般選考、特別選考Ⅱ、大学推薦特別選考の志願者で、司書教諭の資格を有する方は教科試験において加点します。

福島県教育庁

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

問合せ先

義務教育課 教員採用担当 TEL024-521-7761
 高校教育課 教員採用担当 TEL024-521-7770
 特別支援教育課 教員採用担当 TEL024-521-7765

Twitterでも教員採用の情報を発信しています。
 「福島県教員採用」で検索してください。
 義務教育課HPにリンクを掲載しています。